

気になる本に 本気になる

— 図書館に行こう —



今なお続くコロナ禍で「おうち時間」という言葉が定着しました。読書をすすめるメディアが増え、気になる本も多く目につくようになった気がします。こんなときだからこそ、図書館を活用してはいかがでしょうか。

少し遠いという人には、分館や便利な電子図書館もあります。

よく利用する人も、久しぶりの人も、夢中になれるあなただけの1冊を探しに、図書館へ行ってみませんか。

開放的で明るい空間で

お気に入りの一冊を

駅前複合施設「パフィオうわじま」内にある宇和島市立中央図書館は、だれでも利用できる、とても魅力的な図書館です。



左上/2階と3階が吹き抜けでつながり開放的な空間に。左下/日差しが降り注ぐ明るく気持ち良い環境。右上/自習室では静かな環境で勉強などに集中できる。右中/線路が見える席は、のんびり列車を眺めるだけでもリラックスできそう。右下/ふと外に目をやれば、宇和島城が見える。

message from library



宇和島市立中央図書館
館長 河野達弘さん

宇和島市立中央図書館は、JR宇和島駅前に平成31年4月に新築された複合施設「パフィオうわじま」の中に堀端町から移転され、もうすぐ開館4周年を迎えます。4階建ての建物のうち2・3階が図書館のエリアですが、一部吹き抜け構造となっており、明るく開放的な大空間を感じ取ることができます。

当館では、季節やテーマに応じて選書した、お勧めの本を展示するコーナーを毎月設けていて、多くの来館者の皆さんに

その本を手にしてもらっています。今後もテーマの設定や展示方法を工夫し、図書館の魅力向上を図ります。また常設で設置している特設コーナーとして、郷土にゆかりのある資料を集めた「郷土資料コーナー」、市立宇和島病院と連携した「がん情報コーナー」、宇和島市在住で日本を代表する美術家大竹伸朗氏から寄託された資料を、大竹氏自らが選書し展示まで手がけた「大竹文庫」など、多くのコーナーがあります。ですのでご覧ください。

最後になりますが、「パフィオうわじま」は子育て世代から高齢者まで利用する複合施設です。中央図書館も本を借りたり読んだりしなくとも、市民の方が気軽に立ち寄れる憩いの場ですので、ぜひ一度遊びに来てみてください。

問 中央図書館 ☎ 22-1065



電子図書館では、パソコンやスマホを使って、いつでもどこでも電子書籍を読むことができます。



自動貸出機で簡単に本を借りられたり、夜間などでも本を返却することができます。図書館が遠くてなかなか行けない人には、電子図書館もとても便利です。

本気になれる、便利なサービス



小学校などへも定期的に本を届けています。



図書館返却口は、駐車場入口の近くにあります。



自動貸出機では、簡単な操作で本を借りられます。



工夫を凝らした展示を企画しています。

message from library



カウンター担当の皆さん

「気持ちよく過ごせるように」
 カウンターでの受付業務では、本の貸し出しや返却、自習室、パソコン、DVD・CDなどの受付、予約本の連絡、初めて来た人の利用者カード作成などさまざまな対応をしています。利用者の皆さんからの「こんな本はないの?」という質問や、図書館についてのことなども分かりやすくお答えしています。
 私たちは利用者の皆さんと接する機会が多いため、いつも笑顔で丁寧な対応心がけています。
 読書は、癒やしや学び、また新しい世界の発見など多くの出会いをもたらしてくれます。そのお手伝いが出る事に喜びを感じながら、図書館が居心地の良い空間になるよう努めています。皆さんの来館をお待ちしています。



子どもたちの健やかな成長を願って

児童図書フロアは、柔らかいマットを敷いた「ねころびコーナー」や「お話室」などがあり、子どもたちの学びの場となっています。

お話室では、定期的に絵本の読み聞かせ会や人形劇などが開催されています。

フェルトでできた絵本もあり、安全に楽しく過ごすことができます。



message from library

大竹文庫



「大竹文庫」担当 兵頭 美保 さん



大竹文庫Instagram

「大竹文庫」は、宇和島を制作拠点に世界で活躍されている美術家 大竹 伸朗さんの寄託蔵書を閲覧・貸出できるコーナーで、2020年8月に3階児童図書フロア端にオープンしました。
展示してある本は全て大竹さん自身の所蔵本で、付箋やカキコミもそのままの状態です。図書館で広く採用されている「日本十進分類法」によらず、大竹さんの独自目線で分類された9項目に沿って本を配架していて、大竹さんの興味関心そのまま視けるワクワクした並びになっています。
また、分類項目を一文字で表現したインデックスは、この文庫のために制作された「大竹文字」です。この「大竹文字」で制作されたサインやプレート作品など、コンパクトな空間ながら見どころたくさんです。ぜひ、のんびり眺めに来てください。

近くて便利な、まちの図書館

中央図書館以外にも、吉田と津島に図書館があります。リクエストサービスも行っているのです、ぜひご利用ください。



問 簡野道明記念吉田町図書館
電話 52-3169

簡野道明記念吉田町図書館

大正12年に刊行されベストセラーとなった吉田町出身の漢学者簡野道明先生編纂の漢和辞典「字源」は平成初期まで版を重ねました。
昭和13年先生の没後、遺族から金1万円と著書のすべてが寄附され、先生の名を冠する図書館が誕生しました。
昭和25年には、公共図書館として公民館内に設置され、昭和61年現地に、吉田藩陣屋玄関を模した図書館として開館しました。

中央図書館 津島分館（岩松公民館内）

津島分館は窓がたくさんあり、日の光が存分に届く開放的ですがすがしい空間です。周りは緑に囲まれ静かでゆったりと読書や調べ物ができますので、慌ただしい日常からリフレッシュしにぜひ利用していただきたいです。

小学校に隣接していて、放課後には子どもたちが宿題をしにやってきます。今どんな本が人気なのかということも聞け、児童書の選書に役立つています。受付と利用者の距離が近いので、いろいろな話を聞く機会が多く、情報交換の場にもなっています。多くの人にたくさんのお本を read してもらおうことで、充実した人生のお手伝いができれば幸いです。



問 中央図書館 津島分館
電話 32-2725



広報うわじまでは毎月、図書のコナーで各図書館のおすすめの1冊を紹介しています。ぜひこちらもチェックしてみてください。(P22へ)